

EM Alliance Slack ワークスペース利用規約

2025 年 4 月 11 日制定

本利用規約（以下、本規約）は、特定非営利活動法人 総合救急医療研究会（EM Alliance 以下、「当法人」とする）が運営する Slack ワークスペース（以下、本ワークスペース）の利用条件を定めるものです。本ワークスペースを利用する医師（以下「ユーザー」）は、本規約に同意の上、本ワークスペースを利用するものとします。

第1条（目的）

本ワークスペースは、医師間の情報共有や協働を促進し、患者の診療や研究活動等の質の向上を図ることを目的としています。利用者は、この目的に沿った形で本ワークスペースを利用しなければなりません。

第2条（利用対象者）

本ワークスペースを利用できるのは、医学生・初期研修医および当法人が運営する Note のメンバーシップ（以下「Note サブスクリプション」）に登録している医師のみとします。

2. 医学生および初期研修医は、無料で本ワークスペースを利用できます。
3. 後期研修医・専門医等の医師は、Note サブスクリプションに加入していることが利用条件となります。
4. 当法人は、必要に応じてユーザーに対し登録情報や所属確認のための書類提出を求める場合があります。

第3条（利用登録および除名）

利用希望者は、本規約に同意のうえ、当法人が指定する方法で利用申請を行い、当法人が承認した場合に本ワークスペースへの参加が許可されます。

2. ユーザーが Note サブスクリプションを解約したことを当法人が確認した場合、当法人は当該ユーザーを本ワークスペースから除名することができます。
3. 会員は、任意に本サービスを退会することができます。
4. 当法人は、会員が以下のいずれかに該当すると判断した場合、事前の通知なく当該会員の本サービス利用停止、投稿内容の削除、または登録抹消（強制退会）を行うことができます。
 1. 本規約に違反した場合
 2. 第6条に定める禁止事項に該当する行為があった場合
 3. その他、当法人が当該会員を会員として不適当と判断した場合
5. 当法人は、前項に基づく措置により会員に生じた不利益・損害について、一切の責任を負いません。

第4条（アカウント管理）

ユーザーは、Slack アカウントの管理責任を負い、パスワードや認証情報を第三者に開示してはなりません。

2. ユーザー以外の第三者が当該ユーザーのアカウントを使用して本ワークスペースを利用したことによ

って生じた損害等については、運営者は一切責任を負いません。

第5条（守秘義務・機密情報の取り扱い）

本ワークスペース内では、診療情報などの個人情報や機密性の高い情報をやり取りする場合があります。ユーザーは、医療従事者として守秘義務を厳守するとともに、個人情報保護法その他の関連法令を遵守する義務があります。

2. ユーザーが、本ワークスペースを通じて知り得た機密情報を、本規約で定める目的以外に無断で利用または第三者へ開示・漏洩してはなりません。ただし、法令に基づく要請や患者の同意がある場合など、正当な事由がある場合を除きます。

3. ユーザーは、患者情報を投稿する場合は個人が特定できない形に加工するなど、個人情報保護に十分配慮しなければなりません。

第6条（利用上の注意）

ユーザーは、本ワークスペースを通じたコミュニケーションにおいて、以下の行為を行ってはなりません。

1. 法令または公序良俗に違反する行為
2. 他のユーザーや第三者に対する誹謗中傷・差別・ハラスメント・プライバシー侵害行為
3. 虚偽または不正確な情報の提供
4. 他のユーザーのアカウントを不正に使用する行為
5. 患者や第三者を特定できる個人情報を必要以上に投稿し、プライバシーを侵害する行為
6. 本ワークスペース内で得た情報を、当法人の許可なく外部へ転載・転送・共有する行為
7. 本ワークスペースの運営を妨害する行為
8. 本サービスのサーバーやネットワークに過度な負荷を与える行為
9. その他、当法人が不適切と判断する行為

第7条（知的財産権）

本ワークスペースに投稿された文章、画像、ファイル等の著作権は、原則として投稿を行ったユーザーに帰属します。

2. ユーザーは、投稿内容について、当法人が個人を特定できない形に匿名加工の上、当法人のウェブサイトや Note 記事などで二次利用することを無償で許諾するものとします。

3. ユーザーは、本ワークスペースに投稿するにあたり、第三者の著作権、商標権、肖像権その他の知的財産権を侵害しないよう十分注意し、万一紛争等が生じた場合、自己の責任と費用負担でこれを解決するものとします。

第8条（運営者の権限）

運営者は、本ワークスペースの円滑な運用を目的として、ユーザーが本規約に違反すると判断した場合、事前の通告なしに当該ユーザーの利用停止やアカウント削除などの措置を行うことができます。

2. 運営者は、本ワークスペースの運営上必要があると判断した場合、任意のタイミングでワークスペースを停止・変更・終了できるものとします。また、その場合に発生した損害や不利益について、一切の責任を負いません。

第9条（データの取り扱い）

運営者は、Slack上のデータを必要に応じてバックアップや監査のために閲覧・保存する場合があります。

2. ユーザーが本ワークスペースを退会した場合でも、過去の投稿内容はワークスペース上に残存する場合があります。

3. 当法人は、退会や除名の際にユーザーの投稿データを速やかに削除する義務を負いません。

第10条（免責事項）

運営者は、本ワークスペースを通じて提供される情報やユーザー同士のやり取りについて、当法人はその正確性・完全性・有用性を保証しません。ユーザーは自己責任において情報を利用するものとし、その結果について当法人は一切の責任を負いません。

2. ユーザーが本ワークスペースに投稿・発言した内容については当該ユーザーが一切の責任を負うものとし、当法人はこれに起因するいかなる損害についても責任を負いません。

3. 当法人は、本ワークスペースの利用に関連して生じた直接・間接の損害につき、当法人の故意または重大な過失による場合を除き、一切の責任を負いません。

第11条（規約の変更）

運営者は、必要に応じて本規約を変更することができます。

2. 変更を行う場合は、本ワークスペース上での告知またはメールなどの方法で事前に通知を行います。

3. 変更後の規約は、当法人が通知した時点または告知を行った時点で効力を生じ、ユーザーが規約変更後も本ワークスペースの利用を継続する場合、当該ユーザーは変更後の規約に同意したものとみなされます。

第12条（準拠法・合意管轄）

本規約に関して生じた一切の紛争については、日本法を準拠法とし、紛争が生じた場合はその訴額に応じて、東京簡易裁判所又は東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第13条（協議）

本規約に定めのない事項又は疑義が生じた場合、ユーザーと当法人は法律に基づき、誠実に協議し解決するものとします。

以上